

新ごみ収集車の前で記念撮影する児童 西春近北小



産業廃棄物処理的那須屋興産(伊那市西町)は18日、同市の西春近北小学校の4年生と伊那小学校の3年生が描いた原画を基に車体をデザインした新ごみ収集車を、両校で児童に披露した。カラフルな色合いで環境保全をアピールしたデザイン。10日から稼働し、上伊那地方を中心に街中を走る。環境保全とリサイクルに関心を高めてもらおうと、ごみ収集車の更新に合わせて上伊那地方の小学生にデザインを依頼している。今回が4台目。

車体の右側面を担当した

環境保全願いの児童の絵

那須屋興産 ごみ収集車にデザイン

西春近北小4年まつ組19人は、「地球をきれいに!」という思いを込め、野原や川にいる虫や魚、鳥など多くの生き物を描いた。児童たちは絵を忠実に再現した車体と原画を見比べ「すごい」と完成を喜んだ。左側面には伊那小3年勇組34人が、飼育するヤギ6匹と一緒に自然豊かな環境で活動する様子を表現した。同社の池上裕平常務は「子どもたちの環境を大切にしたい」というメッセージを乗せて、社会全体に発信していきたい」と話した。(藪原麻理子)

長野日報

Nagano Nippo

ご購入ありがとうございます

11月19日(木)

発行所 長野日報社

〒392-8611 諏訪市高島3 ☎0266-52-2000代

©長野日報社2015

ニュースヘッドライン

ごみ収集車に児童の絵 11

産業廃棄物処理的那須屋興産は、西春近北小学校の4年生と伊那小学校の3年生



が描いた原画を基に車体をデザインした新ごみ収集車を披露した。